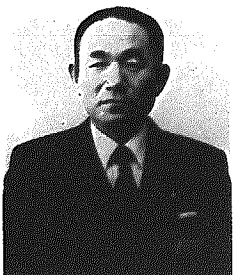


明けまして
おめでとう
おめでとうございます



人と緑と産業の調和した町づくり

町長 青木 太一郎

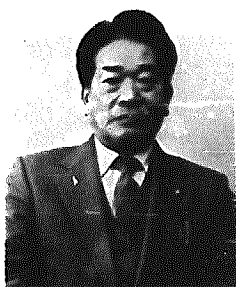


新年明けましておめでと
うございます。
新しい年が二
万二千町民に
とって良い年
でありますよ
うでありますよ

うお祈り申し上げます。
昭和六十一年は黒埜町にとって大きな節目
と思ひます。上越新幹線の開通、関越自動車
道の全線開通という新しい日本海時代の幕開
けの時代に直面し、さらに経済社会の動向の
変化や高度情報化社会、高齢化社会の到来な
どに伴う行政ニーズの多様化と高度化の波が
押し寄せ、新たな施策が要請されております。
こうした諸情勢を踏まえて、二十一世紀の
黒埜町の基盤となる長期総合計画を立案中
です。「人と緑と産業の調和したまち」を理想
とし、「個性と特性を活かしたまちづくり」
を基本姿勢とし、新時代の要請に的確に対応

町民の代表として議会機能を発揮

議長 佐藤 寅一



輝かしい新
年を迎えるに
当たり、黒埜
町議会を代表
して、町民の
皆様へ謹んで
新年のご挨拶

地方の時代といわれた八十年代も今年で後
半を迎えることになりましたが、昨年は国の
内外ともに多事多難の一年でありました。特
に国内では、経済の低成長の中で、中小企業
が円高、ドル安の影響をもちに受け、大きな
打撃を受けています。
行政面では国の行政改革の影響により、補
助金の削減など一定の制約が加えられていま
す。これらの影響により、町の財政は大きな
圧迫を受け社会福祉や公共事業に大きな支障
となることは明らかであります。

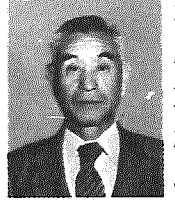
新年のお祝いを申し上げます

- 久蔵弘一 助一 衛吉夫 松策治郎 男一 博康男 六市 男平 雄
- 一 福武喜仁 長由 留満 栄誠 平次 三年 行博 久寅 敏惣 敏
- 岡谷 井橋 海沢 際際 原条 矢 野 莉 橋 端部 井橋 坂 附代 木海
- 富大 永高 成深 山山 笠東 大 大保 藤江 磯坂 高 大石 田熊 嶋
- 役員 議員 議員 議員 議員 議員 議員 議員 議員 議員 議員
- 助 副 議



敬意を表します

自治有功者20人



笠原文雄氏
62歳 木場2512番地

○町教育委員会委員(昭和31年、36年、44年、60年、通算21年)※再表彰



鶴香茂市氏
66歳 木場2120番地

○町収入役(昭和49年、60年、通算10年)



坂井行康氏
52歳 大野3591番地2

○町議会議員(昭和50年、現在、通算10年)



高橋博男氏
53歳 金巻981番地6

○町議会議員(昭和50年、現在、通算10年)



瀧川菊四氏
66歳 立仏979番地257

○20余年間にわたり、寝たきり老人に毎年約200枚のオムツや毛糸の肩掛などを贈り続けられ、また、国内外の被災地に率先して義援金や衣類などを送り続けられています。



白井芳司氏
59歳 小平方1564番地

○小平方自治会長(昭和47年、55年、58年、59年、通算10年)



武樋繁雄氏
64歳 善久845番地1

○善久東自治会長(昭和50年、現在、通算10年)



外河虎蔵氏
59歳 木場2369番地

○木場総代、木場下組自治会



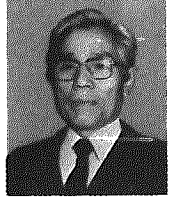
大坂久六氏
58歳 大野3247番地

○町議会議員(昭和50年、現在、通算10年)



石附寅市氏
59歳 木場2178番地

○町議会議員(昭和50年、現在、通算10年)



田代敏男氏
66歳 山田2745番地

○町議会議員(昭和50年、現在、通算10年)



熊本惣平氏
71歳 寺地350番地

○町議会議員(昭和50年、現在、通算10年)



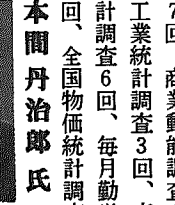
沢田ツヤ氏
60歳 金巻866番地

長(昭和59年、現在)、町農業委員会委員(41年、50年)、木場下組納税組合長(51年、52年、57年)



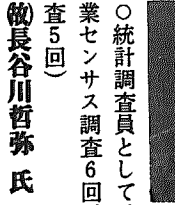
本間丹治郎氏
60歳 黒島4877番地

○統計調査員として功績(労働力調査6回、商業統計調査7回、商業動態調査2回、工業統計調査3回、事業所統計調査6回、毎月勤労調査1回、全国物価統計調査1回)



做長谷川哲弥氏
大正13年生まれ 大野3362番地

○統計調査員として功績(農業センサス調査6回、国勢調査5回)



大野3362番地

○昭和15年に大野に珠算塾を開設して以来、卓越した技術により本町児童の珠算教育に尽力されました。昭和22年全国珠算競技大会除算の部優勝。

昭和60年度の自治有功者が決まり、昨年11月19日に役場議場で表彰式が行われました。写真真右。選ばれたかたは左記のとおり、町の自治、保健事業、教育などに尽力された20人のかたがたです。

昭和51年に脳卒中後遺症者の集い「親和会」を結成され、後遺症者へ激励、訪問、リハビリの研修会などを開催。また昭和60年体験記「負けてたまるか」を発表され、後遺症者のため自己の不自由を乗り越えて努力されています。